

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

池田まさよし通信

発行：池田まさよし事務所
【第43号】

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

春分の折、ますますご清栄もこととお慶び申し上げます。

日頃は、池田正義の議員活動に対しあたたかいご支援ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

令和8年度当初予算につきましては、知事選挙を控え骨格予算として編成され、目下の最重要課題である、物価高騰の影響を受ける府民生活や事業活動への対策のほか、府民の命と健康を守る医療・福祉、防災・減災などの安心・安全対策や、新年度に合わせた子育て・教育分野への対応など、年度当初から取り組むことが必要な事業を計上。また、これらの対策については、国の経済対策も最大限活用し、2月補正と併せて切れ目のない14か月予算として編成されています。

2月定例会では予算特別委員会委員長として10日間にわたり書面審査をおこない3月5日には、西脇知事をはじめ関係理事者に出席を求め、総括質疑を5党派8名が質疑を行いました。

長引く物価高騰や深刻化する人手不足など、多くの課題が山積するなか、本委員会では、先の9月定例会における決算審査を踏まえた「意見・提言」がどのように反映されているかを含め、府政全般にわたる重要課題を中心に、様々な角度から厳正に審査を行いました。

各委員のからは、連日、終始熱心に、慎重かつ厳正な審査を賜り、円滑な審議運営にご協力いただきましたことに、心から感謝を申し上げます。

3月12日本会議にて新年度予算は可決・成立しました。そのあと、令和8年度の当初予算に係る審議を踏まえた「意見・提言」を荒巻議長から西脇知事に提出をしていただきました。

京都府は骨格予算で新たな政策予算はこれからであります。国の予算の早期成立を期待するところであります。これからも府域の均衡ある発展の為、国・府・市連携のもと地域課題の解決のため努めてまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



京都府議会議員
池田正義

令和8年度当初予算及び令和7年度2月補正予算

総額 1兆581億700万円

令和8年度当初予算 1兆432億6,000万円

令和7年度2月補正予算 148億4,700万円

府民生活や事業活動を守る物価高騰対策

(1) 府民生活を守り向上させるための取組

- ◆外出応援キットの配布等により子育て世帯の外出時の負担を軽減 ……4億円
- ◆銭湯文化を守り認知度向上や利用促進を図るため子どもの入浴料の無料化を実施 ……5,600万円
- ◆保育所や幼稚園等が実施する演奏会やお遊戯会などの取組への支援を強化 ……3億円
- ◆府内の大学が実施する学生食堂の割引など学生を応援するための取組を支援 ……1億6,200万円

(2) 事業活動を守り発展させるための取組

- ◆中小企業者等が行う持続的な生産性向上に向けた取組を支援 ……8億円
- ◆厳しい状況にある伝統産業事業者の事業継続に向けた取組を支援 ……1億9,000万円
- ◆地域公共交通の維持確保や鉄道の利用促進に向けた取組を総合的に支援 ……4億7,000万円
- ◆高水温の影響で漁獲物の鮮度保持に苦しむ漁業者の設備導入等を支援 ……1億円

府民の安心・安全対策

(1) 安心できる健康・医療・福祉の充実化

- ◆安心できる地域医療を維持するための医師確保対策を推進 ……9億6,700万円
- ◆全国トップクラスの福祉医療制度により府民の経済的負担を軽減 ……82億8,300万円
- ◆発達障害児の診療体制再構築と早期支援の充実により初診待機期間を短縮 ……2,800万円

(2) 災害発生時における対応強化

- ◆被災時の府民の命と健康を守るため災害救助用備蓄物資を計画的に確保 ……1億3,000万円
- ◆避難者の災害関連死や健康被害を防ぐため避難所等の環境整備を推進 ……1億3,500万円
- ◆府市及び府内市町村の連携による京都市消防ヘリの2機同時運航を開始 ……3,000万円

子育て・教育環境の充実

(1) 子育て環境の充実

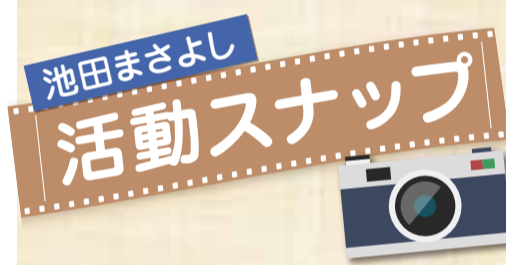
- ◆知事が認定した市町村の子育てにやさしいまちづくり計画を進める取組を支援 ……1億400万円
- ◆経済団体や民間企業との連携による婚活支援の取組を強化 ……1,600万円
- ◆多様な保育ニーズに対応するため2歳児の幼稚園利用料への支援を強化 ……4,300万円

(2) 教育環境の充実

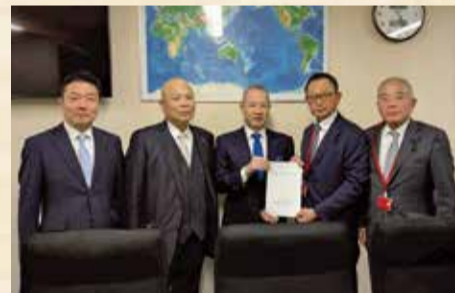
- ◆私立高校に安心して修学できるよう国制度に上乗せし授業料等の保護者負担を軽減 ……21億3,300万円
- ◆体育館・特別教室の空調設備整備やトイレの洋式化を計画的に実施 ……8億8,000万円
- ◆府立高校のさらなる魅力化を図るため未来を担う人材の育成に向けた取組を推進 ……3億5,000万円

人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

- ◆道路整備等の公共事業 ……561億7,200万円



11月6日 舞鶴力二初競



11月7日 海上保安議連 要望



11月16日 南舞鶴ふれあいサンデー



11月18日 山陰近畿自動車道整備促進決起大会



11月30日 陸上自衛隊 福知山



12月11日 大浦振興協要望議会 知事要望



1月29日 水素実証視察(国際埠頭)



2月11日 都マグロ出発式



3月13日 海の民学舎修了式

12月定例会 一般質問に登壇（質問と答弁の概要）

1 府北部地域の人材確保について

【質問】府北部地域では、有効求人倍率が令和7年12月時点で1.73倍と、府南部地域の1.30倍を大きく上回る深刻な人手不足が続いており、個々の企業活動にとどまらず、地域経済全体や産業活動の持続性にも影響を及ぼしつつあるが、府北部地域の人材確保に関し、これまで本府としてどのような取組を進めてきたのか。

また、その取組を通じて、どのような点に課題があると認識しているのか。



12月定例会での一般質問の様子

【西脇知事答弁】これまで京都府では、地元在住の方から転出された方まで切れ目のない支援を行うため、「市町や高校と連携した生徒向け企業説明会」や「保護者向けセミナー」の開催、「北部地域や京都市内における大学生を対象とした合同企業説明会」、「地元求職者向け企業面接会」、「都市部からのUIJターン希望者を対象とした就職フェア」など、総合的な取組を進めてきました。

また、転出した学生への情報誌の発送や

SNSによる情報発信、学校と連携して北部地域の学校出身者の再就職を支援する「きたがくデスク」の設置など、将来地元に戻って働くことを選んでもらえるよう、地域で働く魅力を伝える取組にも力を入れてきました。

しかし、生産年齢人口の減少が加速する中で、企業の人材不足は依然として解消に至っておらず、新たな取組みにチャレンジすべきと考えています。

【質問】本年度策定した「京都府人材確保・多様な働き方実現プラン」では、社会全体が従来の枠組みから大きく転換するパラダイムシフトの時代にあるとし、雇用の在り方や人材活用の考え方を根本から見直す必要があるとしており、なかでも府北部地域の特性を踏まえた人材確保プロジェクトは、同プランの柱の一つとして明確に位置付けられ、従来の延長にとどまらない意欲的・挑戦的な取組を示しているが、府北部地域の人材確保プロジェクトについて、地域の実情を踏まえ、今後どのような考え方で取組を進展させていくのか。

【西脇知事答弁】「北部地域の人材確保プロジェクト」では、まず「みんなの人事部、みんなの人材プロジェクト」として、人手不足が深刻な中小企業の負担を軽減するため、企業説明会やインターンシップなどの採用業務や従業員研修などの人事業務を、複数企業で共同して行う仕組みの構築を検討しています。

令和8年度は、北部地域の企業に対して説明会や企業訪問を通してメリットを丁寧に説明し、プロジェクトへの参画企業を募るとともに、共同で処理する業務内容や体制、費用負担などの具体的な検討を進めていきます。

また、「パラレルキャリア推進プロジェクト」として、都市部で本業を持ちながら、副業として複数の企業で働く「パラレルキャリア人材」などを活用し、ホームページ作成やデータ入力、DXの推進などの業務を行ってもらうことで、不足する人材を補いたいと考えています。それを踏まえ、令和8年度は経営者を対象に、実際にパラレルキャリア人材として活躍している方を講師としたセミナーを開催するなど、パラレルキャリア人材の受入れに向けた理解の促進に取り組んでいきたいです。

今後も、市町や関係機関と連携しながら、北部地域の企業の人材確保と定着に向けて総合的に取り組んでいきます。

2 府民が相談できる地域連携薬局等について

【質問】薬局を単なる調剤の場から、地域医療や住民の健康を支える拠点へと発展させるため、国は「地域連携薬局」や「健康サポート薬局」の制度を創設した。しかし、府民の間では「薬局はどこでも同じ」という認識が依然として強く、制度の意義や役割が十分に理解されているとは言い難い。

京都府保健医療計画では地域連携薬局の認定等を推進するとしているが、特に地方部では認定薬局が少なく、府民の利用促進が課題となっている。地域連携薬局や健康サポート薬局について、国による制度化の背景と期待を踏まえ、どのように周知・啓発を進めているのか。

また、高齢者や在宅患者の支援では、薬局機能の活用が不可欠であり、ケアマネジャーがその機能を理解しケアプランに反映することで支援の質の向上も期待できる。介護・福祉分野への周知を強化することで、地域包括支援センターやケアマネジャーの理解と活用を促進できると考えるが、本府はどのように周知・啓発を進めているのか。

【健康福祉部長答弁】高齢化が進む中、薬局には薬の相談だけでなく健康についても気軽に相談できる身近な医療の窓口としての役割が求められています。

国では、在宅医療などに対応する「地域連携薬局」と、健康相談や情報発信を行う「健康サポート薬局」を制度化しました。府内では令和7年12月末現在、地域連携薬局が118件、健康サポート薬局は令和7年9月末現在で55件となっています。

京都府では、保健所や市町村、薬局を通じたチラシ配布や府ホームページへの掲載、毎年10月の「薬と健康の週間」における府民だよりや市町村の広報紙への掲載を行うとともに、地域包括支援センターやケアマネジャーなどの関係者に対しは、

地域ケア会議など多職種が参加する会議において、地域連携薬局の取組を報告するなどの取組を行っているところであり、引き続き周知・啓発に努めていきます。

【質問】府保健医療計画の目標達成に向け、地域連携薬局や健康サポート薬局を広げていくためには、医療だけでなく介護・福祉分野との連携強化や薬局への支援も重要と考えるが、現状と今後の取組についての考えはどうか。

【健康福祉部長答弁】京都府では、より多くの薬局が地域連携薬局や健康サポート薬局を目指せるよう、基準の解説や申請手続きの相談支援を行い、取組を後押ししています。

一方で、府民や関係者の認知度が十分でないことや調剤報酬の加算対象となっていないこともあり、取組が広がりにくいことなどが全国的な課題となっています。このため、制度が適切に評価されるよう引き続き国へ要望してまいります。

また、地域連携薬局を検索できる医療情報ネットの周知や薬局の取組事例の発信などを通じて、介護・福祉分野との連携強化にも取り組みます。

今後も京都府保健医療計画に基づき、関係機関との連携の下、地域連携薬局などが役割を発揮して正しく評価されるとともに、府民が安心して生活できる環境づくりを進めていきます。

3 部活動の地域展開について

【質問】学校によっては部活動が成立しない状況がある一方で、部員数や指導体制が確保され活動が継続できている学校もあり、すべての学校で一律に地域移行を進める状況ではない。こうした中、舞鶴市では地域と連携した部活動の地域展開に取り組んでいる。

部活動の地域展開について、府教育委員会としての方針と、モデル事業の成果と課題、今後の取組方針について伺いたい。

【教育長答弁】少子化が進む中、将来にわたり子どもたちが継続的にスポーツや文化芸術活動に親しむ機会を確保することが重要であると認識しています。

京都府では、すべての部活動を一律に地域展開するのではなく、学校単独で継続できる部活動は維持しながら、継続が難しい地域や学校、部活動から地域展開を進める方針としており、この方向性を「京都モデル」として示しています。

この「京都モデル」では、地域展開を学校の部活動に代わる「新しい活動スタイル」と位置付け、持続可能で多様な地域のスポーツ・文化芸術活動の環境を整えることで、子どもたちが自分の希望に応じて安心して活動に参加し、充実感を得ることができるよう取組を進めています。

モデル事業について、府内では令和3年度から2市町で実施され、現在は9市町に広がっています。地域のスポーツ団体や文化芸術団体、総合型地域スポーツクラブなどと連携した取組が進められ、競技力の向上や活動の楽しさの実感、広域から参加する生徒との交流などの成果が報告されています。一方で、活動場所や指導者、移動手段の確保、保護者の経費負担、持続可能な運営体制の整備などが課題として挙げられています。

今後は、モデル事業の成果を府内へ広く波及させるとともに、各市町村が抱える課題の解決を支援していきます。具体的には、府教育委員会主催の市町村合同会議を開催し、スクールバスの活用による移動手段の確保や保護者負担の在り方など、全国や府内の事例を基に解決策を検討していきます。

また、地域クラブの運営を担う人材の育成に向け、府の総括コーディネーターとスポーツ協会が連携して研修を行い、各市町村で持続可能な運営体制の構築を支援します。さらに府立学校を拠点とした「開放型地域クラブ」の拡大により、活動場所や指導者の確保を進めます。

府教育委員会として、市町村への伴走支援や国への要望を行い、子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に参加できる環境づくりを進めていきます。

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 舞鶴市南田辺71番地1



TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723

東事務所 舞鶴市森本町29-5



TEL(0773)77-5670 FAX(0773)77-5671

お気軽にお立ち寄り下さい



京都府のホームページもご覧いただけます



市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。